

2025年10月16日

報道関係各位



国立印刷局工芸官の企画展を10/28（火）から11/24（月・振休）まで開催

「お札を彩る模様の魅力～見れば見るほど面白い～」

【概要】

国立印刷局（理事長：河村直樹）は、2025年10月28日（火）から11月24日（月・振休）まで、滋賀県立美術館（所在地：滋賀県大津市/ディレクター（館長）：保坂健二郎）にて、「お札を彩る模様の魅力～見れば見るほど面白い～」を開催します。

滋賀県にある国立印刷局彦根工場は、1944（昭和19）年に設立され、2024（令和6）年で創立80周年を迎えました。国立印刷局と古くから繋がりがある滋賀県において、昨年に引き続き、日本銀行券の偽造防止技術等を紹介するとともに、国立印刷局工芸官の企画展を開催します。

国立印刷局では国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券、諸証券、パスポート等の製造を行っており、高度な芸術性と技能を有した工芸官と呼ばれる専門職員により、これらの製品の設計がなされています。

特に、日本銀行券に関しては、工芸官の手作業による技術と最新のデジタル技術の融合を体現した製品でもあります。原版作製では、工芸官による手仕事の中核をなしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすためには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。

また、日本銀行券には、工芸官による繊細な技が練り込まれた美しいすき入れや彩紋が施されています。企画展では、国立印刷局工芸官の高い技術とその魅力を伝えます。

【開催詳細】 **※入場無料**

□日 時：2025年10月28日（火）～11月24日（月・振休）9：30～17：00

毎週月曜日休館（ただし休日の場合は開館し、翌日火曜日休館）

□場 所：滋賀県立美術館 1階ラボ（滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1） 無料展示

□展 示 品：凹版画、すき入れ紙、彩紋画

□主 催：独立行政法人国立印刷局、滋賀県立美術館

【ワークショップの開催】※参加無料

□日 時：2025年11月3日（月・祝）10：00～16：00【事前申込制】

①10：00～11：00 ②11：30～12：30

③13：30～14：30 ④15：00～16：00

□内 容：国立印刷局の工芸官と一緒に、自分だけの“お札風”コラージュを作ってみよう！

※詳細は美術館HP (<https://www.shigamuseum.jp/events/11586/>) をご確認ください。

※会場定員に空きがある場合は、当日参加も可能。

□場 所：滋賀県立美術館 2階ワークショップルーム

□定 員：各回4組

□対 象：小学3年生以上から中学生とその保護者（※親子・兄弟などご家族でもご参加いただけます）



【凹版彫刻実演】

□日 時：2025年11月3日（月・祝）10：00～16：00

□内 容：国立印刷局工芸官による凹版彫刻の実演。

※お昼休憩等のため、工芸官が不在の時間帯がありますので、予めご了承ください。

□場 所：滋賀県立美術館 1階エントランスロビー

【取材対応】

□取材をご希望される場合は、下記滋賀県立美術館の広報担当までご連絡願います。

□国立印刷局の職員は11月3日（月・祝）のみ滋賀県立美術館に滞在いたしますので、予めご了承ください。

□国立印刷局へ取材を申し込む際には、国立印刷局HP

(<https://www.npb.go.jp/aboutweb/contact/hodo.html>) をご確認ください、取材申請書、取材内容（質問事項）の提出をお願いします。

□国立印刷局工芸官の顔の撮影は禁止となっております。また、氏名等も公表できませんので予めご了承ください。

□国立印刷局工芸官の展示品の一部は撮影が禁止となっておりますので、予めご了承ください。

□アクセス：

【公共交通機関でお越しの場合】

・JR琵琶湖線 瀬田駅で下車（京都駅から約17分）

・瀬田駅前バスのりば（1番のりば）から帝産バス「大学病院」行きにご乗車いただき、「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」で下車（瀬田駅から約10分）

・バス停から美術館までびわこ文化公園内を徒歩約5分

※瀬田駅には新快速は停まりません。

※時間帯によって停車するバス停が異なります

【お車でお越しの場合】

・新名神高速道路 草津田上インターを降りて約5分

・びわこ文化公園の駐車場（無料）から美術館まで徒歩約5分

※機材の持ち込みなどの都合上、美術館前までお車の乗り入れが必要な場合は、下記美術館広報担当まで別途ご相談願います。

<展示品の例>



彩紋画
【作品名「タツノオトシゴ」】

<工芸官のコメント>

彩紋模様は、お札などの模様で使用されており、偽造を防ぐための役割を担っています。

本作は彩紋模様を工夫して組み合わせて絵として表現した「彩紋画」であり、独特で複雑な絵となるのが特徴です。

モチーフとなったタツノオトシゴは、想像上の生き物である竜の子を思わせるユニークな姿と生態で、多くの人々に興味を持たれている魚です。

硬い体表、巻き付く尻尾、たて笛のような口など、他の魚とは異なるその姿を、彩紋で丁寧に描くことで、緊張感を持った絵画作品となるように心がけました。

本作は、最新作の初公開となります。

<本件に関するお問い合わせ先>

滋賀県立美術館 学芸課（広報担当）小松

Tel.077-543-2113/e-mail : museum@pref.shiga.lg.jp

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人国立印刷局 広報官室

Tel.03-3587-4210/e-mail : proffice@npb.go.jp